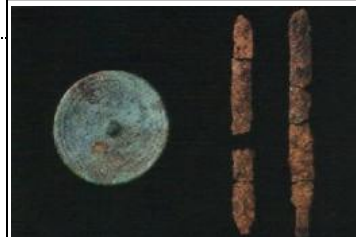


経塚山古墳出土遺物

分野 歴史

地域 浜玉

◎地図・写真・統計資料など



経塚山古墳出土遺物

(『佐賀県の文化財』より)

■経塚山古墳出土遺物（きょうづかやまこふんしゅつとどいぶつ）

経塚山古墳は、唐津市浜玉町淵上、玉島川河口東岸の丘陵上に位置し、狭長な竪穴式石室を主退部にもつ径約27mの円墳で、バイパス建設に伴い発掘調査を実施した。築造時期は4世紀後半と推定される。方格規矩鏡は径14.8cmで、中国鏡をまねた国産鏡である。銅質は良い。石室の壁面石積の中に封じ込めるようにして、鉄剣を折り、敷いた状態で出土した。その他の出土遺物として、剣・刀・刀子、儀器化した雛形の斧・鎌・手鎌・ヤリガンナなどの鉄製品や竪櫛がある。

平成3年3月30日 県重要文化財（考古資料）指定
唐津市浜玉町浜崎（唐津市教育委員会）

◎引用・参考文献（出典）

◆『佐賀県の文化財』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html